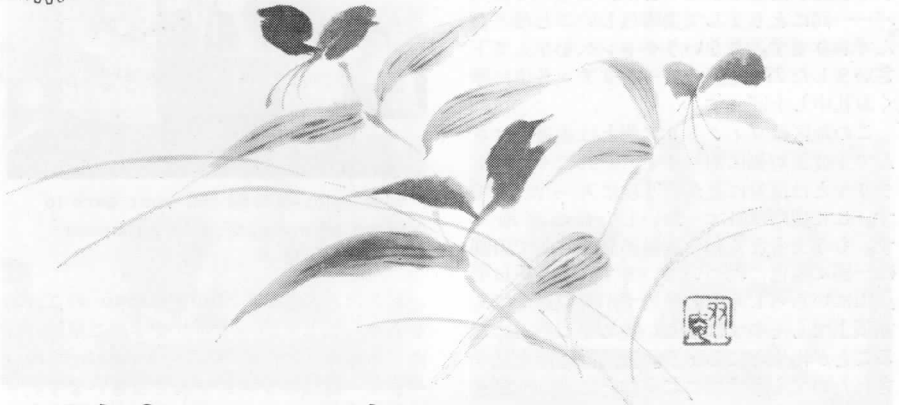




# 会報



THE ROTARY CLUB 鶴岡ロータリークラブ  
OF TSURUOKA

齋藤得四郎氏絵

会報はご家族みんなで読ましましょう

## 第669回例会 1972.9.5 (火) 晴 No.10

場所 ホテル 山王閣 3F 12時30分

例会日 火曜日 12時30分

例会場 鶴岡市本町二丁目 ひ さ ご や

事務所 鶴岡市馬場町 商工会議所内

会長 阿 部 囊 幹事 市川輝雄

R.I 278地区 Group Study Exchange

歓迎合同例会

ホストクラブ 鶴岡西 R.C

ゲストクラブ 鶴岡・温海 R.C

Let's Take A New Look.!

「もう一度 見直そう」



五十嵐卓三君鶴岡西RC国際奉仕委員長の司会でR.I278地区GSE委員歓迎合同例会はクラーク団長以下6名の団員と昨年当地区より同じ趣旨でオーストラリアに派遣団の一員として同行した本間利雄君(庄内銀行勤務)を迎え定刻桜井鶴岡西RC会長の点鐘で開催された。

桜井清鶴岡西クラブ会長は歓迎のあいさつとして、

「R.I278区のG.S.Eの皆さん、鶴岡へよ

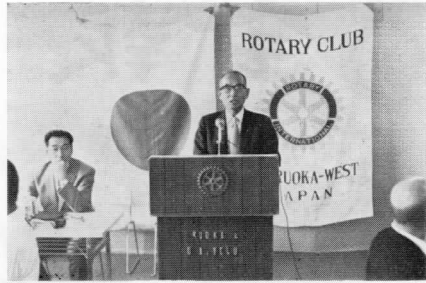
うこそいらっしゃいました。団長のアラン・クラークさん始め6名の方をオーストラリアからはるばる私共のクラブの例会にお迎えすることが出来ましたことは、クラブのメンバー一同にとりまして素晴らしいことだと喜んでおります。こういうチャンスを与えて下さいました278地区のロータリアン各位に厚くお礼申し上げます。

この地区はヴィクトリア州とは赤道をはさんで丁度反対側にあります。それでオーストラリヤとは反対に夏が終り秋に入った所です。ここ庄内は日本一おいしい米の産地です。もうまもなく稲の収穫が始まる所で田圃は一面に金色に色づいています。午後から羽黒山にいらっしゃるわけですがその途中でも亦頂上でもそのすばらしい眺めをごらんになることが出来るでしょう。致道博物館を見学されたのもうすでにご存知とは思いますが、当鶴岡市は古い城下町でこまやかな人情と美しい自然につつまれた住み良い町です。もう大都会には見られなくなった青い空とおいしい空気と美しい緑があります。しかしこのことは反面開発が遅れていると云うことでもあります。美しい自然と開発とは仲々相ともなわない色々難しい問題を含んでいます。今こそ私達ロータリアンが真剣に取り組まなければいけない問題だと思っております。

日本に「百聞は一見に如かず」と云う言葉があります。日本滞在中はロータリー精神である友愛と善意の心をもって出来る限り多くのことを見、聞き、そして肌で感んじられオーストラリアと日本両国間の親善と相互理解のお役に立てていただくようお願いします。10月11日日本を離れられる迄ハードスケジュールが続くわけですが健康に留意され、よりよい成果と素晴らしい旅行を持たれることをお祈りします。」と会員一同を代表して歓迎のあいさつを終り、次いで早坂ガバナークロニニアが立ち

「Gentle man

All Rotarians and Rotary Clubs of Tsuruoka group, send greeting to the Governor's representative, mr. allan Clark and the Study group team of 278 District. We. host clubs. have much pleasuer in receiving Your team in our city  
Excuse me. I can't speak English



well. please lend me your cars to listen to my speech in gapanese for a While.

私共は278地区の Study Group のご紹介を心から嬉しく思っております。ご承知の様にこの度の Group Study Exchange はロータリー財団のプログラムでございます。ロータリー財団はこの他に大学院課程の奨学金と大学課程の奨学金等の教育奨学金のプログラムがあり現在では財団の基金と世界のロータリアンの寄附金を集中的に教育方面に投下しております。ロータリー財団は1928年(昭和3年)に正式に組織が出来ました。

私はここにオーストラリアの方々にお知らせする事があります。それはロータリー財団の出来た4年後に1932年(昭和7年)この鶴岡市にも一個人の力によってロータリー財団と同じ育英事業を行う財団法人が出来てしかも今日まで続いておると云うことです。それは克念社と云い2名の鶴岡RCのメンバー(佐藤伊和治君、風間慶三君)がその理事をしております。強いて両者の相違を云うならばロータリー財団は国際的であり国際理解と世界平和を最終目標としていますが、克念社は仏教の実践を目標としております。ロータリー財団は創立以来3千数百人の学生に奨学金を与え、これを海外に派遣しました。克念社は1932年の創立以来今日まで3百余人の学生に育英資金を与えております。

私はわが鶴岡市にかかる立派な育英財団法人があることを非常に誇りに思っておりますと共に、国際ロータリーが国際理解と親善を最終目標としたロータリー財団を設立、今日益々発展しつつあることをロータリアンとして非常に誇りに思っております。

278地区のStuay Groupのメンバーが International Understanding と Fellow

shipの成果をあげられ、健康で楽しい旅行をされますことをお祈りします」と財団の功績と本プログラムの成果—そのもたらす国際理解と親善を強調された。

次いで五十嵐司会より278地区G.S.Eの各位並びに本間利雄君の紹介がありMr. Allan Clark団長より次の挨拶がなされた。



「鶴岡、鶴岡西、温海クラブの皆さん初めまして。

素晴らしい日を私達に持たせて頂きまして3つのクラブの皆さんに心から御礼を申し上げます。度々と思います。

353地区の皆さんとは今迄交換学生等のプログラムで非常に関係が深い訳ですが、4年前には学生等も御出で下さいましてこの地区との関係は深いと言う事は私は知って居ります。それでこの地区の皆さんと共に私達地区のスクールが交換学生の手をもてること云う事は、ここで重ねて感謝申し上げます。この様に両者の関係は非常に深い訳ですがG.S.Eメンバーの私達が来ましてこんな素晴らしい経験をつままして頂き感謝致します。

去る2月にはこちらの方から御出になったと云う事は、多分御承知の事と思います。この地区のガバナーであるドクター穴沢さんを初め、皆さんがこの様に成功的な立派な計画を実行させて頂いた事に重ねて感謝申し上げます。なければならないと思います。

今日の会長さんの御話にありました様に見る事が私達に大きな勉強になりますので、この素晴らしい地域を出来るだけ多く見させて頂き度々と思っております。

この地区は言う迄もなく農業の田圃が沢山ありますが、私の方のベスト・リフトも農業が盛んで特に牛が沢山居る処です。20年間と云うものは農業が特に主だった訳ですが農業だけでなく、工業関係なんかでも地域に於いて

は、だんだん発展して居ります。

いずれにしても278地区と353地区との人間の交りを私達は大事にして行き度いと思えます。そしてこの事を何時迄も長く続けて行き度いものだと考えます。」

尚、当G.S.Eの中から最年少者である、ペーター・マックミラーさんがスピーチを行います、



会長さん初め会員の皆さん私達をここに、こんなにもてなして下さいまして感謝申し上げます。皆さんがこんなに私達の旅行の為に御準備下さいました事は心から感謝申し上げます。居ります。

昨日私達は前地新発田から此処迄自動車です。

私の場合はオーストラリアのビクトリア州の州都から約200キロ離れて居るニールと云う街に住んで居ります。私の街は農業地域でしてそれと同時に牛を飼って居る地域に住んで居ります。

昨晩私は御世話になった家で地図を見て私の家が何処に有るかなんかを御説明申し上げ、私はそんなに遠い処から今此処に来て居る事は唯うれいと云う一言に尽きます。

私は代表して3つのホスト、ホームの方達に感謝申し上げます。又それと同時に昨日私達をわざわざ新発田まで迎えに来て下さいました方々に重ねて感謝申し上げます。

昨年度は私達は353地区からは交換学生を受け入れた訳ですが、強い好い印象を受けました。私は素晴らしい友情を型造ったのです。

今此処で私の結論として重ねてこの素晴らしい機会を持たせて下さった事を、この3つのバーナーで278地区のロータリークラブを表現させて頂ければ有難いと思えます。」

とスピーチを終りバーナーの交換を行い、

最後に3クラブより「多層民家」そめぬきの風呂敷を団員各位に贈呈し、例会出席者百余名全員の拍手を受ける中で団員は次の予定で

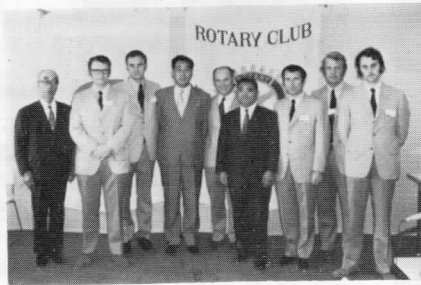
ある羽黒山に向け出発し、合同例会を終了した。



例会場にクラーク団長及び団員の入場風景



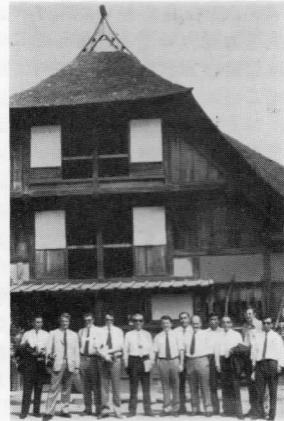
ベーター・マックミラン君と阿部会長  
バーナー交換スナップ



G.S.E 全員と三クラブ会長 記念スナップ



羽黒で法螺貝の朗々たる音色に感嘆の団員たち



致道博物館内田麦俣多層民家前での  
記念スナップ

■出席報告

本日の出席		
会 員	数	63名
出 席	数	50名
出 席	率	79.37%
前回の出席		
前 回	出 席 率	80.95%
修 正	出 席 数	53名
確 定	出 席 率	84.13%

欠 席 者

阿宗君、阿部(公)君、平田君、池内君、石井君、青山君、中野君、三浦君、岩網君、齋藤(信)君、佐藤(忠)君、篠原君、津田君  
メーカーアップ

阿宗君、五十嵐(伊)君—山形RC